

<保護者の皆様へのお願い>

郡山市立 熱海 中学校長

「マイ弁当の日」

本校では、郡山市教育委員会が推進する「マイ弁当の日」を実施します。保護者の皆様の御協力をよろしくお願いします。

「マイ弁当の日」の取り組みにより、子どもが親に感謝したり、食べ物に感謝したり、親子の会話が増えたりすれば、こんなに嬉しいことはありません。

弁当というひとつの食文化をとおして、「学校と家庭」が力を合わせることができれば、意義深い取り組みになると思います。

「この日」をきっかけに家族の食事に積極的にかかわっていく子どもが増え、「一家団楽」が広がることを期待します。

家庭は子どもの教育のもっとも大切な場所です。

郡山市教育委員会

1 目 的

家庭との協力・連携のもとに、子どもたち一人ひとりが発育発達段階に応じて、望ましい食習慣や食に関する適切な判断力を身に付け、生涯にわたって生きいきとした生活を送ることができる力を育むとともに、食材のありがたみや弁当を作る苦労等を知り、親への感謝の心を育て、親子の絆を深める機会とします。

(1) 食べる力を育む

子どもたちの発育発達段階に応じ、食に関する知識や食を選択する能力を養い、それを生かして自ら望ましい食生活を実践していく力

(2) 感謝の心を育む

自然の恵みに対する感謝の心、食に関わる人々への感謝の心、食材や食器等を大切に作る心等

(3) 郷土愛を育む

郡山のそれぞれの地域に根ざした食文化を理解し、豊かな食材と季節感あふれる食を知り、郷土食や行事食を継承しながら、郷土の良さを発見すること等

2 実施日 学校の「弁当の日」

3 対 象 全校児童生徒

4 実施方法は以下のとおりです。

(1) 学年毎の実施形態

①小学1年生～3年生：保護者がつくる「手弁当」

ア 保護者がどのように弁当をつくるのか、前日の準備や朝早く起きてつくるその過程を見学学習させる。

イ 「一緒につくりたい」「手伝ってみたい」という子どもには、一緒に寄

り添いながら体験させる。

②小学4年生～6年生：保護者をつくる「ファミリー弁当」

ア 保護者がどのように弁当をつくるのか、前日の準備や朝早く起きてつくるその過程を体験学習させる。

イ 保護者と子どもが力を合わせ、一緒につくることを体験し、自分だけの「ファミ弁」を完成させる。

③中学生：自分でつくる「マイ弁当」

ア 保護者がどんな思いで弁当をつくるのか、前日の準備や朝早く起きてつくるその過程を体験学習させる。

イ 自ら栄養バランスやカロリーを考え、保護者が見守ってつくる自分だけの「マイ弁当」を完成させる。

5 学校では事前・事後に以下の指導をしていきます。

(1) 事前指導

①学級活動や総合的な学習の時間、学年・全校集会等において事前指導します。

②弁当をつくることと、つくるまでの過程が大切であることを指導します。

③弁当の品評会ではないことを指導します。(豪華な弁当が目的ではない)

(2) 事後指導

学級活動や総合的な学習の時間等で感想をまとめたり、保護者アンケート等により、実施の効果を確かめます。

6 協力をお願いする主な内容です。

(1) 一番心配なこと

一番心配なのは、ケガと火です。子どもの発達段階をとらえ、献立・買い出し・調理・弁当箱詰め・片付け等、「親がするもの」「子どもがするもの」「親子でするもの」「見守るもの」「助言するもの」「手本を見せるもの」等を決めてください。

なんでも「子どもにやらせる」という取り組みではありません。

ですから、「ケガ」をしないように手伝ってあげてください。火を使うときは「お手本」を見せてください。子どもが「自分でやりたい」と言えば、寄り添って励ましてください。よろしくお願いします。

(2) 主食・主菜・副菜の量など、栄養のバランスを考えたメニューを親子で考えてください。

(3) 「弁当の日」の飲み物は、お茶か牛乳にしてください。

(4) 豪華な弁当をつくることが目的ではありません。

(5) 会食時は、食材・料理方法等を話し合ったりしながら楽しく食べる雰囲気をつくりますので、親子で弁当づくりを体験してください。

(6) 感想を作文にしたり、学級新聞や学級通信等を活用し、「弁当の日」の取り組み内容や成果を学校と家庭で共有できるようにしますので、アンケートへの御協力をよろしくお願いします。